

創刊号

OSAKA MUSEUMS

大阪ミュージアムズ

■編集・発行 / 株式会社毎日新聞大阪センター
〒530-0001 大阪市北区梅田 3-4-5
TEL.06-6346-8734
■監修 / (公財) 大阪市博物館協会
〒540-0008 大阪市中央区大手前 4-1-32
TEL.06-6940-0550
■2015 (平成 27) 年 10月9日発行

携帯電話の利用
マナーを心がけよう。

2015年 秋号のIndex

- 特集 大阪市立東洋陶磁美術館・・・1-2
・国際交流特別展「新発見の高麗青磁—韓国水中考古学成果展」
・特集展「中国青磁の美」平常展「韓国陶磁」ほか
・館長リレーインタビュー 出川哲朗さん
・学芸員に聞く私のおススメ 野村恵子さん
展覧会情報・・・3
・大阪歴史博物館 / 大阪文化財研究所 / 大阪市立美術館
WELCOME TO THE MUSEUM SHOP・・・3
・大阪市立自然史博物館
大阪市の博物館・美術館ガイドMAP・・・4-5
・谷四・大阪城公園 / 天王寺 / 長居 / 天六 エリア
・淀屋橋・北浜・肥後橋エリアの
おススメスポット & お得なクーポン
展覧会スケジュール・ピックアップ・・・6
クイズ de ミュージアム・・・7

特別展と同時開催中

特集展「中国青磁の美」 平常展「韓国陶磁」ほか

東洋陶磁美術館が誇る館蔵コレクションから、特集展では中国青磁約20点を選んで展示し、高麗青磁とはまた異なる魅力をご紹介します。平常展では、館蔵の韓国陶磁、中国陶磁を展示しています。

いずれも逸品ぞろいです。落ち着いた展示空間とともに楽しみください。



青磁劃花鴛鴦文水注
北宋時代・10～11世紀



青花辰砂蓮花文壺
朝鮮時代・18世紀後半

大阪市の博物館・美術館、「大阪ミュージアムズ」の魅力と情報をご紹介します。
Introducing the rich and varied Osaka Museums of history, culture, art and nature.



深海からの目覚め
～800年前の息吹感じて～

青磁獅子形香炉蓋
韓国国立海洋文化財研究所蔵
写真：六田知弘氏

特集

大阪市立東洋陶磁美術館
The Museum of Oriental Ceramics, Osaka

日韓国交正常化 50 周年記念 国際交流特別展

新発見の高麗青磁 —韓国水中考古学成果展—

Newly Discovered Goryeo Celadon and the Achievements of Underwater Archaeology in Korea

大阪市立東洋陶磁美術館では11月23日(月・祝)まで、日韓国交正常化50周年記念国際交流特別展「新発見の高麗青磁」を開催しています。韓国の美術史上でも大きな位置を占める高麗青磁の研究ですが、最近は文献調査や発掘だけでなく、水中の遺物等を研究する水中考古学による成果も注目を集めています。

水中考古学は、1976年、朝鮮半島西南部の新安沖で発見された沈没船「新安船」の調査がモデルとなり、韓国国立海洋文化財研究所によって目覚ましい発展を遂げました。今回は同研究所がこれまでに調査した高麗青磁など、研究成果を日本で初めて紹介しています。



「考古学とかちょっと難しい…」と諦めないでください! なかにはタコによって発見!?された品や水中から引き揚げられたとは思えないほど綺麗な高麗青磁も。学術的側面ばかりでなく、美術的側面からも楽しめます。深海で眠り続けていた品を見ながら、悠久の時に想いをはせてみてはいかがでしょうか。



開催期間 9月5日(土)～11月23日(月・祝)
開館時間 午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
観覧料 一般1,200円 高校生・大学生700円
中学生以下無料
電話 06-6223-0055 FAX 06-6223-0057
ホームページ <http://www.moco.or.jp/>



大阪市立東洋陶磁美術館
出川哲朗さん

世界屈指のコレクション

「日本で最も有名な美術館ですよ」最近、アジアやヨーロッパから訪れた外国人来館者に、相次いでそう言っていただきました。世界屈指の東洋陶磁コレクションを所蔵するという意味で、日本でトップクラスの美術館だと自負しています。台北の故宮博物院が今年12月、別館の故宮南院を開館させますが、開館記念展の一つとして当館所蔵品から高麗青磁展と伊万里展で計約300点ほどが展示されることが決まっています。

当館のコレクションには国宝が2点、重要文化財が13点含まれています。しかし、そんな「権威付け」では語り尽くせない魅力こそ伝えたいと、私たちは日々努力しています。

当館には、美術史に位置づけられる名品がたくさんあります。たとえば、人類が作りだした最高のやきものは、高麗青磁と中国・宋時代の青磁と言えるかもしれませんが、その青磁の中でも、作品によって微妙な色の違いなども確認するという、ぜいたくなこともできます。900年ほど前のやきものが割れずに今に伝わっていることは、奇跡的ともいえるでしょう。

東洋陶磁の「美」を伝える仕掛けは、あらゆる所にあります。アクセスしやすい大阪の中心部で水辺に面した中之島という立地は、

●出川哲朗（でがわ てつろう）

2008年より大阪市立東洋陶磁美術館館長を務める。専門は中国陶磁史。主著は『明末清初の民窯』（共著）、『アジア陶芸史』（共著）。

憩いの場として大きなアピールポイントです。そして展示環境。陶磁器に特化していますから、ほどよいサイズの展示ケースに手すりがつき、作品にぐっと近づけます。照明は開館当初から自然採光室を作るなど、作品を美しく見せる自然光にこだわり、その採光室には現在は青磁の名品が並んでいます。また、数年前には、全ケースを自然光に近いLEDへ変更することが出来ました。

また、作品を360度から見ることのできる回転台を3カ所、「加彩 婦女俑（かさいふじょよう）」などに設置しています。1周回るのに80秒ほどでしょうか。立体造形としての魅力を実感していただきたいですね。全ケースに免震装置を設けたので、テグスで作品を固定する必要がなくなりました。その意味でもやきものの「美」を最大限感じていただけるはずですよ。

特別展きっかけに平常展でも東洋陶磁の魅力を

展覧会の中身も重要です。特別展のみならず、平常展や特集展示にも力をいれています。当館は構造上、特別展目当ての方も必ず平常展示室を通っていただくようになっていきます。鼻煙壺（びえんこ）のコーナーなど、小展示もバラエティーに富んでいます。さまざまなコレクションを活用した展覧会として、昨年伊万里展や蓮が描かれた陶磁器と蓮の写真とのコラボレーション展、今年は黄金時代の茶道具展が好評でした。



来館者アンケートを企画の参考にすることもあります。西洋陶磁を見たいという要望が多いので、特別展として以前開催したマイセン展に続き、ヘレンド展を準備しています。日本陶磁では来年、近代陶芸の巨匠、宮川香山を紹介する予定です。近現代陶芸も少しずつ充実したいと思っています。美術館の将来を考えると、近現代陶芸の展示も欠かせないからです。さまざまなリクエストに応えつつ、平常展示室を通ることで東洋陶磁の魅力にも触れていただき、それぞれ好きな作品を見つけてほしいです。

立ち寄りたくなる美術館を目指して

私たちは、中之島を散策しているうちにふらりと立ち寄りたくなる美術館を目指しています。若い人たちに陶磁器の魅力を知っていただくことも重視しております。近年行いました「ルーシー・リー」や「フィンランド・デザイン」などは、若い人たちが多く来館されました。特別展を見た後で、平常展で世界トップクラスの東洋陶磁の名品を見ていただき、またあの作品を見たいと再度来館いただきたいと願っています。そのためには単なる「宝物館」にせず、新しい見せ方、奥の深さを紹介する方法を探っています。常に美術館の扉を開けていきたいくらいですが、それは温湿度などの管理上できません（笑）。気持ち「開かれている」美術館なので、ぜひ皆様のお越しをお待ちしております。きっとお気に入りの作品が見つかると思います。



●大阪市立東洋陶磁美術館

大阪の都心部に広がる緑と水の空間、中之島公園。大阪市立東洋陶磁美術館は、その緑に溶け込むように建っています。

この美術館は、世界的に有名な「安宅コレクション」を住友グループ21社から寄贈されたことを記念して大阪府が設立したもので、1982（昭和57）年11月に開館しました。

開館時間 午前9時30分～午後5時
（入館は午後4時30分まで）
休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始・展示替え期間



携帯電話の利用
マナーを心がけよう。

◆学芸員に聞く◆ 私のオススメ

博物館・美術館の楽しみ方などについて、そこで働く学芸員の方に「私のおススメ」を紹介してもらうこのコーナー。記念すべき第一回は中国陶磁が専門の、大阪市立東洋陶磁美術館学芸員の野村恵子さんに聞きました。

当館では建物の構造上、特別展開催中には平常展は規模を縮小して展示しています。現在も韓国陶磁30点、中国陶磁25点と小規模

なものです。しかし、作品は厳選しており、いわば館蔵品のエッセンスともいえます。特別展期間の平常展こそ、オススメだ、との声もあります。今回は、特別展の内容が高麗時代の青磁なので、韓国陶磁は朝鮮時代の作品に限るとか、特集展では中国の青磁を紹介するとか、陶磁器をいろいろな視点から鑑賞していただけるような工夫もしています。

個人的には、中国の青花磁器をご紹介したいです。筆を使って文様を描いたもので、コバルト顔料の発色による鮮やかな藍色の濃淡で表現された水中の世界は、いつ見ても飽きないものです。釉色の美しさが重視される青磁との比較という意味でも、おもしろいのではないのでしょうか。



重要文化財・青花蓮池魚藻文壺
元時代・14世紀 景德鎮窯

展覧会情報 EXHIBITIONS

大阪歴史博物館

Osaka Museum of History

古代から現代まで、なにわの歴史をひとめぐり。
大阪城と難波宮に隣接する博物館です。

特別展

「唐画もんー武禪に閩苑、若冲も」



江戸時代中期に活躍した墨江武禪(すみのえぶぜん)や林閩苑(はやしろうえん)は、中国絵画を学んだ「唐画師(からえし)」として大坂でも有数の絵師として人気がありました。

本展では親しみを込めて「唐画もん」と名付け、彼らの画業とともに同時代の大阪や京都で活躍した個性派の絵師たちも紹介します。

会期：10月31日(土)～12月13日(日)
休館日：火曜日

※11月3日(火・祝)
は開館、11月4日(水)
は休館

料金：大人 1,000円
高大生 800円

「歴博 唐画もん」で検索!

〇〇特別展講演会

「善きものと出会うー古美術を楽しむー」

日時：11月15日(日)14:00～15:30
(開場は13:30～)

講師：岡本 栄氏(伊賀市長・元関西テレビ放送アナウンサー)

参加方法：9:30より1階受付にて先着順に整理券を配布。定員250名

参加費：300円(特別展の観覧券もしくは半券提示の方は無料)



大阪文化財研究所

Osaka City Cultural Properties Association

むかしの大阪をみらいの大阪へ伝える。
大阪市内の遺跡を発掘調査しています。

特集展示

「新発見!なにわの考古学2015」

2014年度に大阪文化財研究所が行った大阪市内の遺跡発掘調査の成果展示、「新発見!なにわの考古学2015」を開催します。鎌倉時代の「四天王寺」文字文軒丸瓦(もじもんのきまらがわら) [四天王寺旧境内遺跡]、江戸時代の宝珠文鬼瓦(ほうしゅもんおにがわら)

[中之島蔵屋敷跡]などの主要な成果を、約250点の出土資料と発掘現場の写真パネルで紹介。また、加美遺跡の弥生時代終末期～古墳時代の周溝墓群出土遺物や、近年、地形復元などで注目



四天王寺旧境内遺跡で見つかった「四天王寺」文字文軒丸瓦

されている森の宮遺跡では縄文時代の資料もまとめて展示します。(大阪歴史博物館と共催)

会期：10月21日(水)～12月27日(日)

休館日：火曜日 ※11月3日(火・祝)は開館、11月4日(水)は休館

会場：大阪歴史博物館 8階 特集展示室

料金：大人 600円

高大生 400円

(常設展観覧料でご覧いただけます)



「大阪の歴史を掘る2015」講演会

日時：12月5日(土)13:30～16:30
(13:00より受付開始)

テーマ：「平成26年度大阪市内の発掘調査」
杉本厚典(大阪歴史博物館学芸員)

テーマ：「加美遺跡墳墓群の意義と卑弥呼の時代を考える」

森岡秀人氏(奈良県立橿原考古学研究所共同研究員・桜井市纏向学研究センター共同研究員)

会場：大阪歴史博物館 4階 講堂

参加費：500円

大阪市立美術館

Osaka City Museum of Fine Arts

さまざまなコレクターのまなざしと出会う!
天王寺公園の中にある、歴史ある建物が魅力の美術館です。

特別展 「伝説の洋画家たち 二科100年展」



大正3年(1914)に誕生した二科展はこの秋に第100回を迎えます。これを記念して、過去の二科展出品作を通じて100年の歩みを振り返ります。二科100年、伝説の洋画家たちのたゆみない挑戦と切磋琢磨の歴史をどうぞご堪能ください。

会期：9月12日(土)～11月1日(日)

休館日：9月14日(月)・28日(月)、10月5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)

料金：一般 1,300円

高大生 900円

※ホームページから当日割引券がダウンロードできます。



〇〇特別展講演会

日時：10月11日(日)13:30～15:00

テーマ：「二科会絵画部」

田中 良氏(二科会理事長)

伊庭 新太郎氏(二科会常務理事)

日時：10月17日(土)13:30～15:00

テーマ：「二科・大阪・楳重」

篠 雅廣(大阪市立美術館館長)

〇〇見どころトーク

■大阪市立美術館の学芸員が見どころをわかりやすく解説

日程：10月10日(土)、10月24日(土)

時間：13:30～14:00

■二科会絵画部会員が二科会の歴史と展覧会の見どころを解説

日程：10月27日(火)～11月1日(日)

時間：13:30～14:00

QRコードの使用時には、携帯電話の利用マナーを心がけよう。

WELCOME TO THE MUSEUM SHOP

大阪市立自然史博物館

Osaka Museum of Natural History

自然を見つける、楽しく学ぶ。
長居公園にある自然の中の博物館です。

～いくつか読めるかな? 虫へんTシャツ～

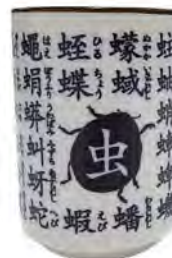


蝶・蟻・蛙の読み方は、チョウ・アリ・カエル。では、蝗・蚯・蟬は? 答えはイナゴ・ミミズ・コオロギです。こんな虫へん漢字が68並んだTシャツは、いかがでしょう? 大阪市立自然史博物館のミュージアムショップのロングセラー商品です。大阪市立自然史博

物館のミュージアムショップは、個性豊かな博物館のオリジナルグッズが魅力のショップ

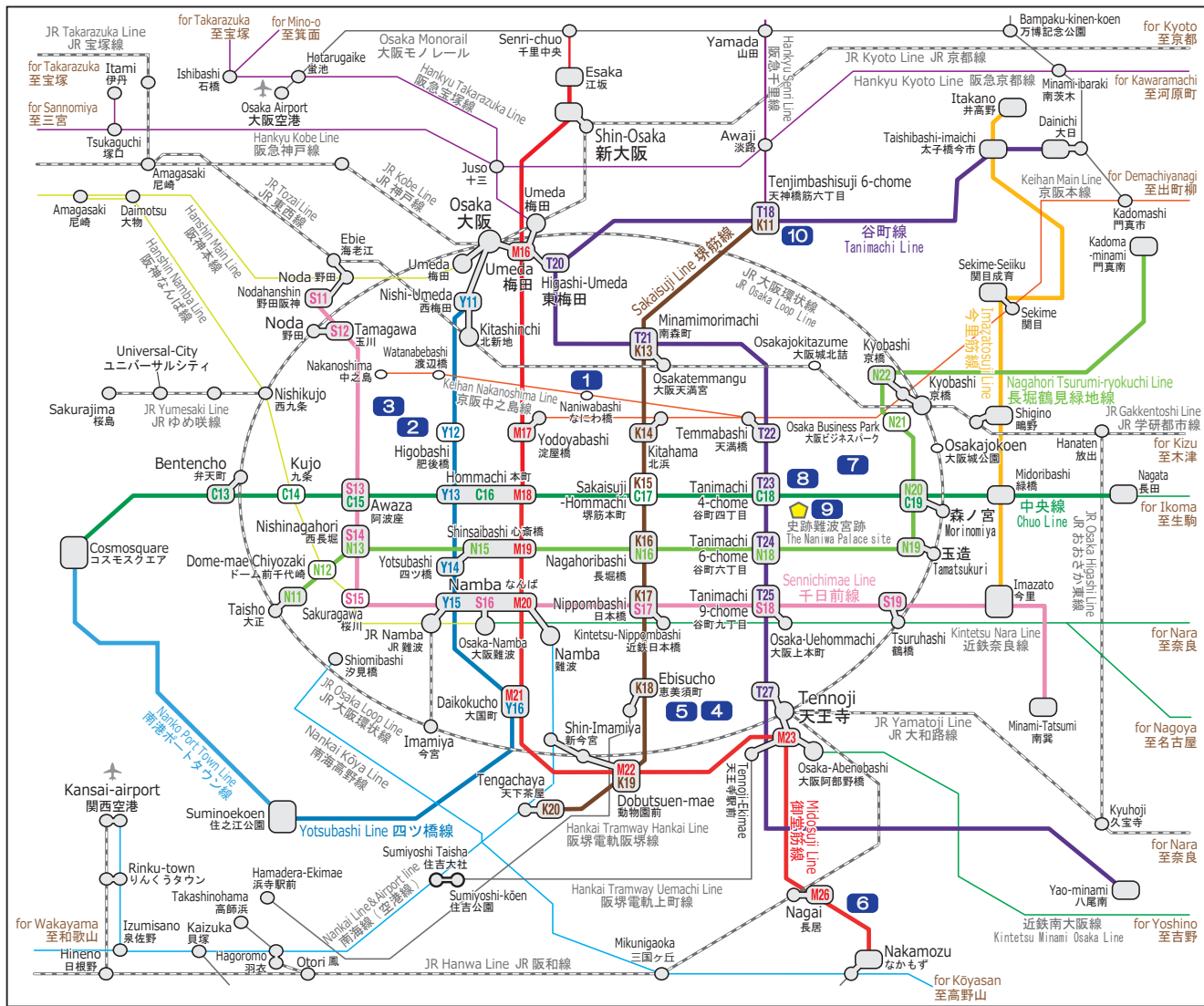
です。虫へんは、お寿司屋さんで出てくる魚へん湯呑に対抗(?)して、湯呑としても登場。鳥へんTシャツもあります。他のお店では見つからない博物館グッズを買うのは、博物館に行く楽しみの一つ。外国からのお客様さまへのプレゼントとしてもおすすめです。

Tシャツのサイズは、150(XS)、S、M、L、XL。鳥へんTシャツは、キッズサイズ(130)もあり。各2,160円。虫へん湯呑1,080円



■Information 場所 大阪市立自然史博物館 花と緑と自然の情報センター1階 ※無料のスペースです。ショップのみのご利用もできます。営業時間 博物館の開館時間に準じます。

▶ オリジナル商品のほか、生き物など自然をモチーフとした商品、博物館の解説書などの出版物、自然に関する書籍など多数取り揃えています。



大阪市の 博物館・ 美術館 ガイドMAP

The Osaka
Museums
Guide Map

- 2** 大阪市立科学館
Osaka Science Museum
<http://www.sci-museum.jp/>
- 5** 天王寺動物園
Tennoji Zoo
<http://www.jazga.or.jp/tennoji/>
- 7** 大阪城天守閣
Osaka Castle Museum
<http://www.osakacastle.net/>
- 10** 大阪くらしの今昔館
The Osaka Museum of Housing and Living
<http://www.konjyakukan.com/>
- 大阪新美術館建設準備室
Osaka City Museum of Modern Art
(Planning Office)
<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu120/artrip/> (建設予定地は**3**)

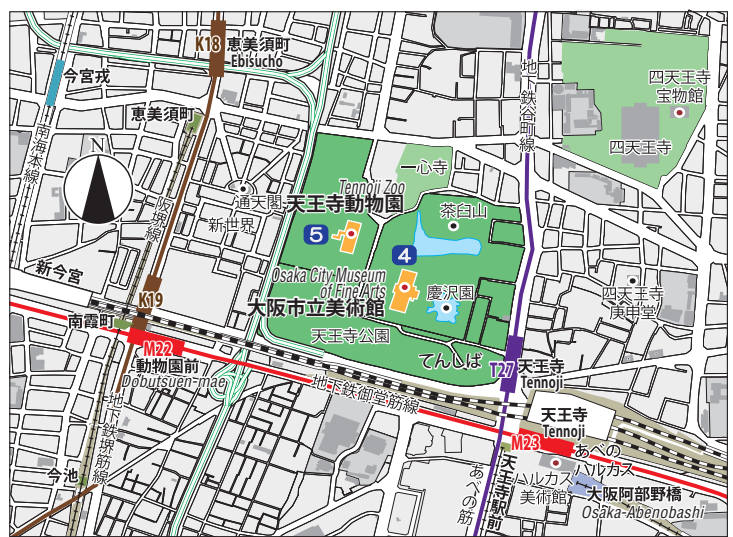
1 大阪市立東洋陶磁美術館
The Museum of
Oriental Ceramics, Osaka
〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26
(大阪市中央公会堂東側)
TEL 06-6223-0055
FAX 06-6223-0057
URL <http://www.moco.or.jp/>
開館時間 9:30~17:00
(入館は閉館の30分前まで)
休館日 月曜日(祝日・休日の場合は翌日)、
展示替期間、年末年始
観覧料 一般500円 高大生300円
中学生以下無料
※ 企画展・特別展は別料金

4 大阪市立美術館
Osaka City Museum of
Fine Arts
〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町
1-82 (天王寺公園内)
TEL 06-6771-4874
FAX 06-6771-4856
URL <http://www.osaka-art-museum.jp/>
開館時間 9:30~17:00
(入館は閉館の30分前まで)
休館日 月曜日(祝日・休日の場合は
翌平日)、展示替期間、年末年始
観覧料 一般300円 高大生200円
中学生以下無料
※ 特別展・特別陳列は別料金

6 大阪市立自然史博物館
Osaka Museum of
Natural History
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23
TEL 06-6697-6221
FAX 06-6697-6225
URL <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
開館時間 9:30~17:00
(11~2月は16:30閉館)
(入館は閉館の30分前まで)
休館日 月曜日(祝日・休日の場合は翌日)、
年末年始
観覧料 大人300円 高大生200円
中学生以下無料
※ 特別展は別料金

8 大阪歴史博物館
Osaka Museum of History
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32
TEL 06-6946-5728
FAX 06-6946-2662
URL <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>
開館時間 9:30~17:00
(入館は閉館の30分前まで)
休館日 火曜日(祝日・休日の場合は翌日)、
年末年始
観覧料 大人600円 高大生400円
中学生以下無料
※ 特別展は別料金

9 大阪文化財研究所
難波宮調査事務所
Osaka City Cultural Properties
Association
〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-6-41
TEL 06-6943-6836
FAX 06-6920-2273
URL <http://www.occpa.or.jp/ikou/miyajimu/miyajimu.html>
開室時間 平日9:00~17:00
休室日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始
観覧料 無料
※ 見学は事前予約が必要



天王寺エリア Tennoji Area **4 5**

谷町四丁目・
大阪城公園エリア
Tanimachi4-Chome/
Osakajokoen Area **7 8 9**



長居エリア
Nagai Area **6**
天神橋筋六丁目エリア
Tenjimbashisuji6-chome Area **10**

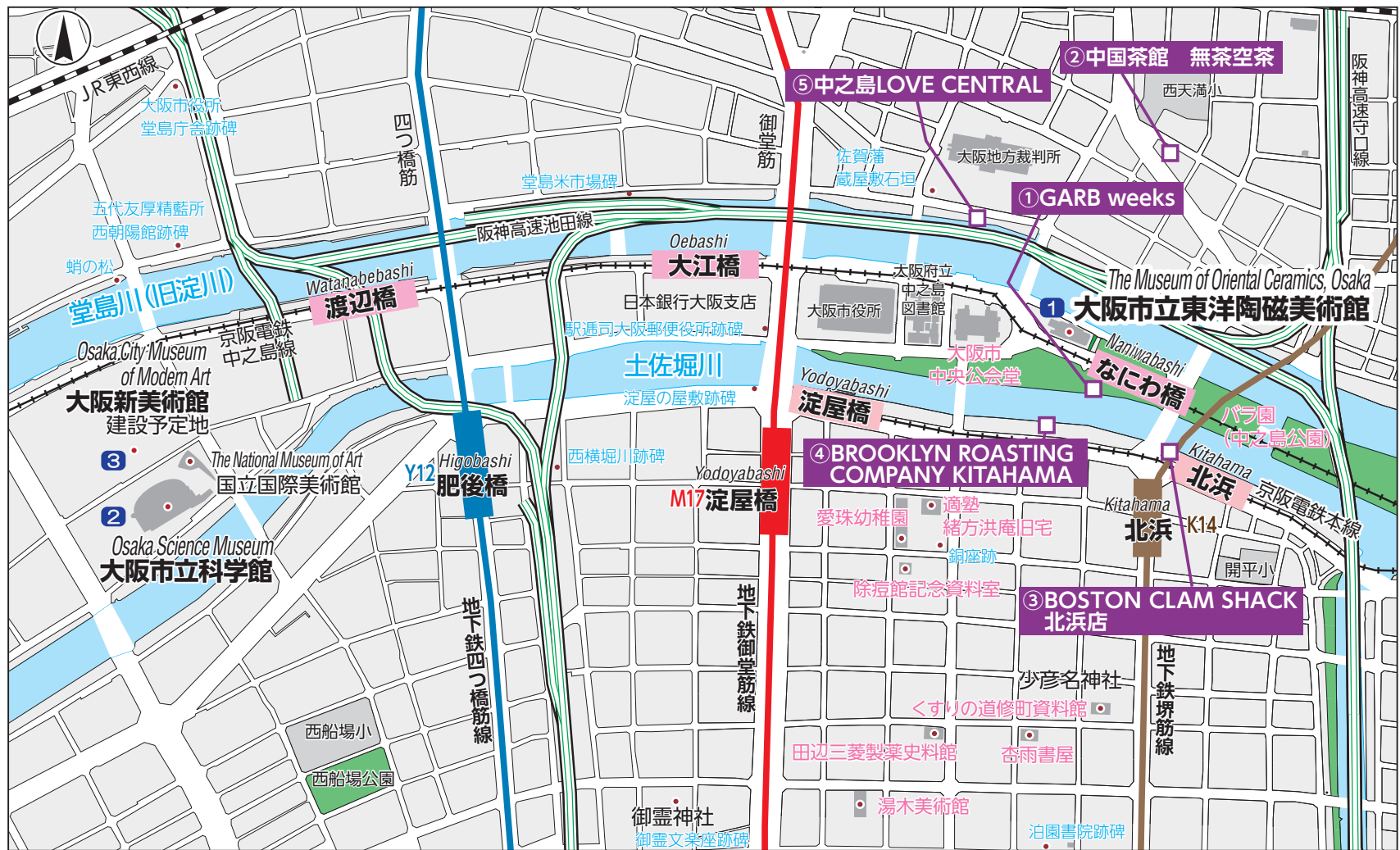


大阪ミュージアムズ
公式Twitter & facebook
博物館・美術館情報発信中!

公益財団法人 大阪市博物館協会発行 [Osaka Museums Guide] より引用して加筆



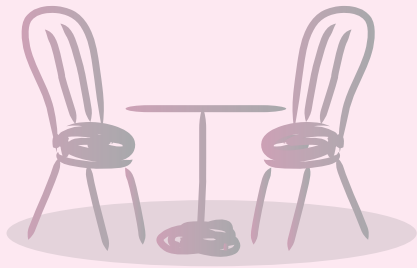
淀屋橋・北浜・肥後橋エリア Yodoyabashi/Kitahama/Higobashi Area



淀屋橋・北浜・肥後橋エリアのオススメスポット & お得なクーポン

クーポンの使い方

- クーポンは切り離してご利用下さい。(本紙持参でもOK)
- 必ずご注文時にクーポンの提示をお願いします。
- 他のサービス、クーポン券との併用はできません。
- 有効期限は全店舗2016年2月末日までとなっております。



ランチセットご注文で 1ドリンクサービス

①GARB weeks

中之島公園内にあるおしゃれなカフェレストラン。オープンエアのガーデンテラスで本格ナポリピッツァと季節の素材をお楽しみ下さい。ディナータイムには不定期でオルガネットの演奏も



営業時間 11:30~23:30
LUNCH 11:30-15:00 (L.O) / DINNER 17:30-22:30 (L.O)
土日祝は11時オープン
大阪市北区中之島1-1-29/TEL.06-6226-0181
(2016年2月末日まで有効)

ランチご注文で200円割引

(喫茶のみの場合100円割引)

②中国茶館 無茶空茶

(むちゃくうちゃ)

無茶空茶館は築100年の日本家屋です。落ち着いた空間で、産地直送の中国茶葉を使用した中国茶をご堪能下さい。また水餃子など自慢のランチはすべて手作りでご提供しています。



営業時間 12:00~19:00(日・祝休)
大阪市北区西天満3-9-12
TEL 06-6361-6910

(2016年2月末日まで有効)

雨の日限定 1ドリンク半額 ※500円以下の商品に限る

③BOSTON CLAM SHACK 北浜店

アメリカ東海岸発祥のシーフードBBQ登場! 新鮮なロブスターを豪快に手づかみでどうぞ。お得なランチセットもあります。



営業時間 11:00~23:00 (L.O22:30)
大阪市中央区北浜1-1-30リバービュー北浜1F
TEL.06-4707-0029

(2016年2月末日まで有効)

ドリンク100円引き

④BROOKLYN ROASTING COMPANY KITAHAMA

NY・ブルックリン生まれのカフェ。原産地・農園にもこだわりぬいたコーヒーを気軽に、カジュアルに楽しめるお店です。天気の良い日は、テラス席で中之島公会堂を眺めながらのひと時をお楽しみ下さい。



営業時間 平日 :8:00-20:00(L.O 19:30)
土日祝: 10:00-19:00(L.O 18:30)
大阪市中央区北浜2-1-16/TEL.06-6125-5740
(2016年2月末日まで有効)

ランチセットご注文で 1ドリンクサービス

⑤中之島LOVE CENTRAL

[sumileOSAKA]

DREAMS COME TRUEがサポート! 大阪市東洋陶磁美術館からは歩いてすぐ。全席川面を望めるリバーサイドテラスで本格イタリアンをご賞味あれ。



営業時間 11:00~23:00
LUNCH 11:00-14:00
大阪市北区西天満2-1-18/TEL.06-6362-1000
(2016年2月末日まで有効)



展覧会スケジュール

	10月	11月	12月	年末年始 休館	
大阪歴史博物館	特別展「海峡を渡る布」 ～10月18日◎	特別展「唐画もんー武禪に蘭苑、若冲も」 10月31日±～12月13日◎	特集展示「新発見！なにわの考古学 2015」 10月21日⊕～12月27日◎	主催：大阪歴史博物館 大阪文化財研究所	
	特集展示「看板の世界」 ～10月19日◎				
	常設展				
大阪市立 自然史博物館	特別展「たまごとたね」 ～10月18日◎	常設展			12/28 1/4
	2015年国際土壌年記念巡回展 「土ってなんだろう？」～10月18日◎				
大阪市立美術館	特別展「伝説の洋画家たち 二科 100 年展」 ～11月1日◎	11月2日◎～2016年2月19日◎まで改修工事のため休館			12/28 1/4
	コレクション展「仏教彫刻」 ～11月1日◎				
	地下展示室（上記休館中もご覧いただけます）				
大阪市立 東洋陶磁美術館	国際交流特別展「新発見の高麗青磁」 ～11月23日◎・⊕		11月24日⊕ ～12月4日◎ 展示替えのため 休館	特集展「中国青磁の美」 12月5日±～2016年1月31日◎	12/28 1/4
	特集展「中国青磁の美」 ～11月23日◎・⊕				

ピックアップ

【大阪文化財研究所】

<http://www.occpa.or.jp/>

■平成 27 年度金曜歴史講座シーズン 1

会場：大阪歴史博物館 4 階講堂 / 大阪の歴史や文化財の最新情報をお届けする連続講座です。

・「邪馬台国時代の加美遺跡」

10月23日(金) 15:30～16:45

講師：大阪文化財研究所 学芸員 田中清美

・「発掘調査からみえてきた徳川期大坂城本丸」

10月30日(金) 15:30～16:45

講師：大阪文化財研究所学芸員 櫻田小百合

・「謎の百濟部とその開発～生野東遺跡の調査成果をもとに～」

11月6日(金) 15:30～16:45

講師：大阪文化財研究所学芸員 小田木富慈美

参加費（資料代）：各回 200 円（当日先着順）

【大阪歴史博物館】

<http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

■特別展「海峡を渡る布—初公開 山本發次郎染織コレクション ふたつのキセキ—」9月9日(水)～10月18日(日)
料金：大人1,000円、高大生800円

■特別展「唐画もんー武禪に蘭苑、若冲も」

10月31日(土)～12月13日(日) ※詳細は3ページ

■特集展示「看板の世界—館蔵コレクションから—」

8月5日(水)～10月19日(月) 料金：大人600円、高大生400円（常設展観覧料でご覧いただけます）

■特集展示「新発見！なにわの考古学 2015」

10月21日(水)～12月27日(日) ※詳細は3ページ

【大阪市立自然史博物館】

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

■特別展「たまごとたね—いのちのはじまりと不思議—」

7月18日(土)～10月18日(日)

タマゴとタネを「対決」という形で比較しながら、両者の子孫を残すためや分布を広げるための仕組みについて紹介する特別展。

料金：大人 500 円、高大生 300 円

■ 2015 年国際土壌年記念

巡回展「土ってなんだろう？」

9月19日(土)～10月18日(日)

地味だけどすごい土の不思議や力を感じ、土ってなんだろう？の答えを見つけにお越しください。

料金：大人 300 円、高大生 200 円

（常設展観覧料でご覧いただけます）

■子どもワークショップ「くらべっこ！ドングリ」

10月17日(土)・18日(日)・11月1日(日)・3日(火・祝)

11:00、13:30、15:00 (1回約60分)

参加費：100円（別途入館料必要）

■「大阪バードフェスティバル 2015」

11月14日(土)～15日(日)

鳥に関連した自然関連のサークル、地域の自然保護団体などがそれぞれの活動を紹介する自然派市民の文化祭。

料金：関西文化の日のため無料

■自然史オープンセミナー

「謎の絶滅哺乳類デモスチルスの生態と進化と探る」

11月21日(土) 13:00～14:30

参加費：無料（別途入館料必要）

【大阪市立美術館】

<http://www.osaka-art-museum.jp/>

■特別展「伝説の洋画家たち 二科 100 年展」

9月12日(土)～11月1日(日)

※詳細は3ページ

■コレクション展「仏教彫刻」9月12日(土)～11月1日(日)

中国南北朝時代の北魏、西魏（5～6世紀）、および平安、鎌倉、室町時代（9～16世紀）の仏像・神像を展示します。制作された地域や時代により移り変わる、様々な「かみほとけのすがた」をご覧ください。

料金：一般 300 円、高大生 200 円

【大阪市立東洋陶磁美術館】

<http://www.moco.or.jp/>

■日韓国交正常化 50 周年記念 国際交流特別展「新発見の高麗青磁—韓国水中考古学成果展」

9月5日(土)～11月23日(月・祝) ※詳細は1ページ

■特集展「中国青磁の美」9月5日(土)～11月23日(月・祝)、

12月5日(土)～2016年1月31日(日)

定員、受付時間、会場など、イベントの詳細情報については、各館にお問合せください。

ほかにもさまざまなイベントを開催しています。各館ホームページ、大阪ミュージアムズwebページ<http://www.ocmo.jp/museums/>をご覧ください。

広告スペース



クイズ de ミュージアム

大阪市立美術館

1. 1936年に建てられ、その外観はクラシックで落ち着いた洋風建物でありながら、屋根に瓦が用いられており、左右対称で重厚な建物になっています。今年、この建物は国の何という文化財に登録されたでしょうか？

こたえ：登録〇〇文化財（答えは漢字）

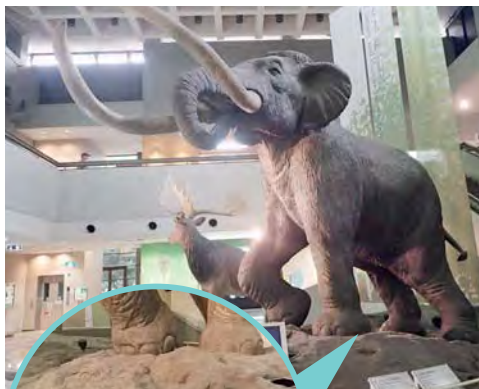


大阪市立自然史博物館

2. 博物館本館入口を入るとナウマンゾウがみなさんをお出迎え。ナウマンゾウは約2万年前まで大阪で暮らしていたゾウです。ナウマンゾウの足元にはある化石のレプリカがあります。何のレプリカでしょうか？

ヒント：物ではありません。地面に残る何かの跡です。

こたえ：ナウマンゾウの〇跡（答えは漢字）



大阪歴史博物館

3. 9階の常設展示近世フロアでは、ミニチュア模型で大坂の町並みを再現しています。写真は、今も演芸シアターとして名を残す、道頓堀の芝居小屋（劇場）です。その劇場名は何でしょう？

こたえ：〇の芝居（答えは漢字）



大阪文化財研究所

4. 発掘調査でその存在が明らかとなった、中央区法円坂にある日本最古の本格的宮殿は何でしょう？

こたえ：な〇〇のみや（答えはひらがな）



現在は史跡として整備され、大阪歴史博物館 10階から一望できる

大阪市立東洋陶磁美術館

5. 2階展示コーナーには、中国の清代を中心に流行した「嗅ぎタバコを入れておくための小さな容器」が展示されています。この容器は何という名前でしょうか？

こたえ：鼻〇壺（答えは漢字）



クイズの答えは、1月13日②、「大阪ミュージアムズ・webサイト」で発表します。
<http://www.ocmo.jp/museums/>



切り取ってハガキに貼り付けてください。コピーして貼り付けても、手書きでも可です。

<クイズのこたえ>

1. 登録〇〇文化財
2. ナウマンゾウの〇跡
3. 〇の芝居
4. な〇〇のみや
5. 鼻〇壺

<アンケート>

- ①大阪ミュージアムズ（本紙）をどこで入手しましたか？
- ②本紙で紹介した博物館・美術館・研究所で、行ってみたいところはどこですか？
- ③今後、紹介してほしい記事、内容はありますか？
- ④現在、興味または関心を持たれていることは何ですか？
- ⑤春になったら行ってみたいところ、やってみたいことは何ですか？

★プレゼントのタイプ（必ずいずれか1つを〇で囲んでください）

- (A) TSUBAKI ダメージケアウォーター さらさら
 (B) TSUBAKI ダメージケアウォーター しっとり
 (C) TSUBAKI リペアミルク

住所 _____

氏名 _____ 才 男・女

【応募方法】 住所、氏名、年齢、性別、クイズの答えを記入の上、上記のアンケートにお答えいただき、ハガキでご応募ください。全問正解者の中から抽選で40名様に下記の品をプレゼントします。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって替えさせていただきます。なお、本アンケートにより入手した個人情報は、プレゼントの発送およびアンケートの集計以外には一切使用いたしません。

【締切】 2016年1月12日②消印有効

【応募先】 〒530-0001 大阪市北区梅田 3-4-5
株毎日新聞大阪センター
「大阪ミュージアムズ」クイズ係

資生堂 「TSUBAKI ダメージケアウォーター」
(A)さらさら (B)しっとり 各10名様
「TSUBAKI リペアミルク(C)」 20名様

「TSUBAKIダメージケアウォーター」は、スプレーするだけで指通りのよい髪に仕上がります。寝ぐせ直しにも効果的で、朝のスタイリングが簡単です。今回は仕上がりが異なる「さらさら(A)」と「しっとり(B)」のどちらかの本体とつめかえ用セットにして各10名様にプレゼント。

「TSUBAKIリペアミルク(C)」は、いたんだ毛先まで浸透ナノ補修します。同時に髪の毛のうるおいを保ち、なめらかな艶髪に仕上げます。こちらは20名様にプレゼントします。ご希望の商品をお選びの上、ご応募下さい。

◆お問い合わせ先 0120-81-4710
(資生堂お客さま窓口)



広告スペース